

平成 29 年 豊岡市賀詞交換会 議長新年あいさつ

皆様、新年おめでとうございます。

穏やかな新春となりました。特に、元旦、2 日、本当に穏やかな天候でございまして、ちょっと穏やかすぎるなというふうに思いました。しかし、1 年を通して考えてみますと、やはり穏やかな 1 年が我々一人一人にとっては一番いいんだろうなということで、この輝かしい年が穏やかな年になることをまず祈念申しあげたいと思います。

さて、そういう思いは強いわけでございますけれども、やはり昨年を振り返ってみましてもいろんなことが起きたと思っています。特に災害面では地震、熊本の地震、あるいは鳥取中部の地震、あるいは福岡沖の地震、台風でもかなり日本に上陸いたしました。台風は特に北海道をめがけて上陸したわけでございますけれども、日本列島でいつ何が起きるか分からない時代でございます。

そういった意味で、私たち行政としてできることは、やはりこの市域の安全を守るという意味で安心安全な市域を作る防災の強化、この辺りは大変必要なことだろうと思っております。

どこで災害が起きても大丈夫というふうに日頃から備えていくということは大変重要なことであると。

それからもう一つは、やはり一人一人の防災力の意識を高めていくということも大変大事なことであると考えられます。当然行政的にハード面だけで救えるわけではありませぬので、一人一人の危機感というのが大変重要であると、このように感じております。

また、広く世界を見渡してみると、やはりいろいろなことが起こってきたと感じています。私は去年、二つ非常に想定外というか、思いがけないことを感じたわけでございます。一つは、やはり EU からのイギリスの離脱の国民投票が是とされたという問題でございます。

大変先進国の中で EU という範を我々に示してくれたわけでございますけれども、中心的なイギリスが離脱することが決定されました。いよいよ今年 3 月から離脱の方向が協議をされていくというふうに賜っておりますけれども、これも考えてみましたら、本当にグローバルな世界からイギリスという国でありな

がらローカル、自分たちのことが第一ということで、特に移民、難民ということがヨーロッパは多いのでしょうか、そういったことに国民が不満を持っていることの証だと思っています。

また、アメリカでの11月の大統領選挙も、皆さんもそうだったと思いますが、よもやトランプさんということをはほとんどの人は思っておられなかったのではないかと。メディアもそうだし、報道もそうだし、ほとんどヒラリー・クリントンさんが勝つだろうと報道されていました。私もそうだろうと思っていました。これもまさかでした。

アメリカという我々の範とする国が、本当に経済的にも恵まれている状況であると思っていたのですが、大統領選挙を見るとそういう状況が出てきた。これもやはり中産階級の不満が高まってきたんだらうと思っています。そうして考えますと、今年もやはりオランダ、フランス、ドイツとかで総選挙、大統領選挙があります。どんなふうに変えていくのか分からないという不安な気持ちを持っています。豊岡であっても、そういうところに影響を大きく受ける。世界の情勢ではありますが、目を見張っていく必要があるんだらうと考えています。

しかし、我々一人一人がそれに立ち向かうかということではできません。やはり我々にできることは、この豊岡にあってどう我々の生活を守っていくか、どう安全安心な社会を築いていくか、このことに尽きるというふうに考えています。今、市長もおっしゃいましたが、インバウンドで本当に大勢の人が日本に来られています。昨年推計で2,300万人ということがいわれております。2020年においては3,000万人、4,000万人という目標値が立てられております。

城崎を中心にこの豊岡市も大変力強いインバウンドの伸びがありますけれども、やはりさっき市長がおっしゃいましたが、グローバルであっても伝統ある地域で、伝統ある田舎をきちんと磨いていくということが、これから我々のできる一つではないかと思っています。

世界の人がこの素晴らしい日本、四季のきちんとした日本を訪れて和んでいただくために、我々がしっかりこの玉を磨いていくということが、大変重要なこれからの方向性ではないかと考えています。

それともう一つ、グローバルであっても豊岡で構成する産業、これは是が非

でも強くなっていただかなければこの地域がないと考えているところです。特に、昨年豊岡の鞆が日本一の出荷だといわれています。より鞆の業界を磨いていただく、そして世界に通用する、あるいは国内で通用する鞆の産業をより磨いていく、このことも大変重要な課題だと思います。そして、鞆だけでなくいろんな産業がしっかりここに根付いていくということが、本当にこの豊岡の力につながっていくと私は確信しています。

そういう意味で、皆さんお一人お一人、また、ここにいらっしゃらない市民のお一人お一人がそれぞれの玉を磨くということが、これから我々豊岡市に与えられた大きな課題であると感じています。ぜひこういうことをお一人お一人頑張っていて、この豊岡が末永くしっかりしたまちだというふうに評価を受ける地域であり続けるために、より皆さんの力を結集しながら、またお一人お一人の力を出しながら頑張っていきたいというふうに考えているところでございます。

新年にあたり、今日こうしてご参集の皆さんの益々のご健勝、ご多幸を祈念申しあげ、また豊岡市の全域が一步でも二歩でも先に進むことを祈念しまして、誠に簡単ではございますが、議会を代表しましての一言のご挨拶といたします。本日はおめでとうございました。